



オリーブ山はその真ん中で二つに裂ける。エルサレムが真二つに裂ける。

黙示録では3つに裂けると書いてありますが、旧約聖書の段階では、まず2つに分かれる。

オリーブ山はその真ん中で二つに裂ける。それによって、東西に延びる非常に大きな谷ができる。

オリーブ山はエルサレムのオールドシティの東側にある山で、現在活断層が発見されています。その活断層の真上に今も現役の道路が走っていますが、まだ大きな地震はないので、オリーブ山が2つに割れることはありません。しかし、大きな衝撃と共に、オリーブ山が2つに割れる場所が分かっているのです。

オリーブ山が2つに分かれるくらいの大きな地震は、なぜ起こるのでしょうか。

**4 その日、主の足はエルサレムの東に面するオリーブ山の上に立つ。**これです。

主は神。主の足は立つ。人間みたいに2本足を持っている。人の姿をしてこの世界に来てくださった方。神であるにも拘わらず人となられた神。そうです。イエス・キリストです。

イエス・キリストは再びこの地上に下りて来られます。エルサレムに。

エルサレムの東に面するオリーブ山の上に立つ。それを合図に、エルサレムが裂けてしまう大地震が起こる。

ここだけ見るとエルサレム限定の地震と思うのですが、実はそうではないことが他の箇所で見つかったんですね。その1つが黙示録です。黙示録で世界中の大都市が倒れ、大バビロン帝国が倒れ、エルサレムはもちろん裂かれてしまう。

超巨大地震は何を表すのか。キリストの地上再臨です。キリストが地上再臨されるので大きな地震が起こったんですね。

## 黙示録 16 章

**18 そして稲妻がひらめき、雷鳴がとどろき、大きな地震が起こった。**

聖書の中で、最初に稲妻と雷鳴が同時に現れるのは出エジプト記です。

モーセがいた時代、神はシナイ山に下りて来られました。その時、稲妻と雷鳴がとどろき、それを見た人々は震え上がった。神が地上に下りて来る時のシェキナー（目に見えるしるし）が稲妻や雷鳴なんですね。つまり、これはキリストの地上再臨のことなのです。

地上再臨で大きな地震が起こる、その目的は何か。

## ヘブル人への手紙 12 章

**26 あのとときは御声が地を揺り動かしましたが、今は、こう約束しておられます。**

**「もう一度、わたしは、地だけではなく天も揺り動かす。」**

あのとときは、先ほどのモーセの時代に神がシナイ山に下りて来られた時、神の声で地面が揺れ動いた。それを聞いたイスラエルの人々は恐れ感った。あのとときは地を揺り動かした。

今は、こう約束しておられます。「もう一度、わたしは、地だけではなく天も揺り動かす。」

天も地も同時に大異変が起こる。

天と地の大異変、地上での超巨大地震が起こる理由は何か。

**27** この「もう一度」ということばは、揺り動かされないものが残るために、揺り動かされるもの、すなわち造られたものが取り除かれることを示しています。

古い町を新しい町に生まれ変わらせる時、まずしなければならないことは、古い町を取り潰して更地にすることです。

反キリストによって地上のすべてが汚されました。その地上をキリストによって聖い王国にするためには、反キリスト時代に造られたすべてのものが、まず一掃されなければならないのです。スクラップされてからビルドが始まる。スクラップ and ビルド。これは現在も行われていますね。反キリストによってもたらされたすべてが跡形もなく姿を消すために、この大地震が起こります。

次に行われることは何か。

**28** このように揺り動かされない御国を受けるのですから、私たちは感謝しようではありませんか。感謝しつつ、敬虔と恐れをもって、神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか。私たちの神は焼き尽くす火なのです。

揺り動かされない御国が**千年王国**です。艱難時代の後に始まる素晴らしい地上天国のような国。これは千年間続くので千年王国と呼ばれ、旧約聖書に詳しく描写されています。この素晴らしい地上天国が現れるために、醜悪・最悪のサタンと反キリスト帝国を撤去する地震なのです。

今日の黙示録を通して1つ問われているように思います。人間には選択があるということです。滅び去るものについて行くのか。いつまでも残るものに人生の重心を掛けるのか。サタンについて行くのか。あなたを造り、愛しておられる神について行くのか。反キリストに従うのか。あなたのために命まで投げ出してくださったイエス・キリストに従うのか。

良いほうを選ぶと良い結末になります。悪いほうを選ぶと悪い結末になります。最も良い選択とは神を選び取ることです。神は最も良い方だから。神はあなたにとっても良い方です。ぜひこの神をイエス・キリストを通して受け入れ、立ち返ってください。心からお勧めします。

チャンネル登録もお願いします。ではまた とうちゃんねるでお目にかかりましょう。皆さん、お元気でいてください。さよなら！

☆引用：新日本聖書刊行会「聖書 新改訳 2017」 いのちのことば社,2017